

# 第12回 宮前区のまちづくりにおける公共機能検討会議

日時:令和5年4月18日(火) 10:10から  
場所:第3庁舎18階大会議室

## 1 宮前区のまちづくりにおける公共機能の検討について

## 2 その他

(配布資料)

委員名簿

資料1 宮前区のミライづくりプロジェクト(令和4年度の取組等)について

宮前区のまちづくりにおける公共機能検討会議 名簿

令和5年4月18日

	委員
座長	藤倉 茂起 副市長
副座長	伊藤 弘 副市長
副座長	加藤 順一 副市長
1	総務企画局長
2	財政局長
3	市民文化局長
4	経済労働局長
5	健康福祉局長
6	こども未来局長
7	まちづくり局長
8	建設緑政局長
9	宮前区長
10	交通局長
11	消防局長
12	教育次長

## 1 取組状況に関する市民周知等

令和4年度は、再開発事業の検証等の状況に合わせ、次のとおり市民周知等を行った。

内容・目的	手法	時期・タイミング
取組や再開発の進捗状況の周知	事業概要説明会（教室型での説明） *1	12月
	宮前区民祭への出展（パネル展示+個別説明）	10月
	オープンハウス型説明会（ " ） *2	2月
	ニュースレターの発行（宮前区内全戸配布）	2月下旬～
	ポータルページ、市政だよりコラム、デジタルサイネージの活用 等	随時
市民ニーズの把握	地域団体等へのヒアリング、区民意識アンケート 等	各部会の取組として適宜
	ネット質問フォーム（主な質問と市の考え方を公表）	随時

### ■ 事業概要説明会 \* 1

- 鷺沼小学校にて事業概要説明会を実施（159名来場）
- 準備組合による再開発計画（施設計画や機能）の検証結果や以降のスケジュール、関連する公共機能に関する取組などについて説明するとともに、質疑応答を行った。



【主な意見・質疑等】

- ・道路拡張（レーン増設）、信号集約等により本当に渋滞が解消するのか
  - ・再開発による人口（住民・利用者等）増により、商業施設が不足しないのか。駅舎の建て替え等、駅利用者への対応はどのように考えているのか 等
- ⇒ 質疑の要旨と本市の見解について、市ホームページに掲載

※別途、環境アセスメント手続きとして、準備組合による「条例環境影響評価準備書についての説明会」を実施（1月に計2回開催/220名来場）

### ■ オープンハウス型説明会 \* 2

- 宮前区内4か所でオープンハウス型説明会を実施（計5回/約700名へ周知等）
- 新しい宮前市民館・図書館に関する検討状況や、鷺沼駅前地区再開発事業の概要・検証状況などについてニュースレターを配布するとともに、希望者に対しては、展示パネルを用いた説明や質問・意見に直接対応した。

日時	2月14日(火) 10時～14時	2月15日(水) 10時～14時	2月16日(木) 11時～15時	2月17日(金) 10時～14時	2月18日(土) 10時～14時
会場	有馬・野川 生涯学習支援 施設(アリーナ)	向丘出張所	鷺沼駅前	宮前市民館 (エントランスホール)	
実績	約50名	約60名	約400名	約60名	約130名

【主な意見等】

- ・再開発事業について（早期完成への期待、工事期間の懸念など）
- ・新区役所等について（多機能に使えるスペースを求める意見など）
- ・現区役所等施設・用地の活用について（地域コミュニティを支える場所としての活用を求める意見など）



## 2 新宮前市民館・図書館・区役所の整備に向けた取組

### （1）令和4年度の取組概要

#### <新宮前市民館・図書館>

- 駅前街区、北街区に整備が予定されている新宮前市民館・図書館について、新施設における機能・配置等の検討を実施

#### <新宮前区役所>

- 北街区に整備が予定されている新宮前区役所について、施設全体の計画・設計等との調整を図るとともに、市民館小ホールの北街区配置に伴うレイアウト等の調整を実施。

### （2）今後の取組

#### <新宮前市民館・図書館>

- 「新しい宮前市民館・図書館基本計画」に基づき、再開発事業の検証状況や市民意見等を踏まえながら、諸室の配置、機能や仕様等の具体化に向けた基本・実施設計を進めるとともに、事業・サービスの内容や効率的・効果的な提供手法等に関する「(仮称)新しい宮前市民館・図書館管理運営計画」の策定作業を進め、ハードとソフトの一体的な検討を行っていく。

#### <新宮前区役所>

- 施設全体の計画・設計等との調整を行いつつ、新宮前区役所の基本計画の策定に向けて、デジタル化の状況等を踏まえた区役所サービスの取組検討と整合を図り、検討を進める。

## 3 現区役所等施設・用地の活用に向けた取組

### （1）令和4年度の取組概要

#### ● 区民意識アンケートの実施（年度末に最終とりまとめ結果を公表）

- ・広く区民に意見を聴取するために、アンケートを実施（6月、2000人抽出、有効回収率51.9%）
- ・現区役所等の施設・用地で使いたい機能についての意見は、「災害時の避難」が最も多く、その他に「飲食」や「買い物」、「運動やスポーツ」の意見が多かった。
- ・区民祭において、アンケートの設問に合わせたシール投票を実施（投票数：約860）

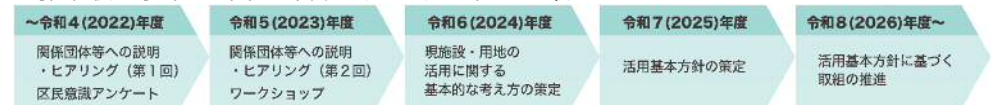
#### ● ニュースレターの発行

- ・検討の進捗を踏まえて、ニュースレターを2回発行  
[vol.1] 9月発行（団体ヒアリング結果とアンケート基本集計結果）  
[vol.2] 3月発行（アンケートのクロス集計結果とスケジュールの見直しについて）

### （2）今後の取組

#### ① 検討スケジュール

引き続き市民参加の取組を進め、市民ニーズや地域課題の整理を行うとともに、行政ニーズの把握や民間活用の可能性検討等を行い、令和7年度を目途に活用基本方針を策定する。



#### ② 令和5年度の主な取組

##### ● 関係団体等への説明・ヒアリングの実施（2回目）

- ・区民意識アンケートなど、これまでの市民意見聴取の取組状況を説明するとともに、各団体に対して、移転後の現区役所等の施設・用地に望ましいと考える機能等をヒアリング。
- ・令和5年度前半に、約50団体等に対して実施。

##### ● ワークショップの実施

- ・アンケートや団体ヒアリング等において幅広く出された市民意見を整理していくために、ワークショップを実施。
- ・団体ヒアリング結果を活かしながら、令和5年度後半に実施。

## 4 向丘出張所の機能の充実に向けた取組

### (1) 令和4年度の取組概要

#### ●活用方針に基づく取組

・「宮前区役所向丘出張所の今後の活用に関する方針」に基づき「多世代が気軽に立ち寄り、人や活動がつながる、向丘地区の核となる出張所」を目指し、市民と一緒に、出張所の一層の活用を図るための取組を推進。

#### ◀機能ごとの主な取組内容▶

**機能① | 木質化リノベーション** (3月完成)  
向丘出張所1階フロアを木質化リノベーションし、木の温もりを感じられる、明るく、親しみやすい空間を創出

**機能② | 各種交流イベントの開催**  
地域団体主催による「むかおカフェ」「むかお曆」等の交流イベントの開催

**機能③ | 地域情報の掲示板の設置**  
向丘地区で開催されるイベントや、団体等に関するチラシなどを掲示

**機能⑤ | 図書コーナーの設置** (7月～)  
宮前図書館から寄贈本等の提供を受け、貸出サービスを開始

出張所に求められる機能	①地域の居場所	⑤図書サービス
	②活動・交流の場	⑥防災
	③情報受発信	⑦相談
	④生涯学習	⑧行政手続



### (2) 今後の取組

- 活用方針に基づく各取組について、市民等との協働・連携、役割分担など、引き続き、具体的な整理等を進め、試行も含めて実施する。令和5年度は、設備の快適化（トイレ・給湯室の改修工事）を実施するとともに、木質化した庁舎を活用しながら、地域の居場所及び活動・交流の場づくり、情報の発信、図書サービスの提供など、出張所の活用を目指し取り組む。
- また、中期（令和6～7）・中長期（令和6～）を目安とした各取組については、可能な限り早期実現に向けた課題解決の検討を進めるとともに、今後予定されている鷺沼駅周辺の再編整備、横浜市高速鉄道3号線の延伸による周辺のまちづくりや、行政手続のデジタル化・オンライン化の状況変化等と整合を図って取り組む。
- 庁舎は「資産マネジメント第3期実施方針」における資産保有の最適化の考え方を踏まえた上で、庁舎等建築物の目標耐用年数60年以上の活用に向けて、経過年数に応じた対応を行う。

## 5 駅アクセス向上に向けた取組

- 鷺沼駅周辺の交通環境については、交通広場の拡充、交差点の集約化や周辺道路への右左折レーンの設置などの駅周辺の交通流の改善等について、引き続き、再開発事業の進捗に合わせて検討を進めていく。
- 引き続き、「路線バスネットワークの充実」とあわせて、駅アクセス向上に関する取組を推進するとともに、進捗を踏まえ、適時適切に情報提供していく。

## 6 再開発事業に関する取組

### (1) 令和4年度の取組概要

#### ●再開発計画の検証

・新型コロナ危機を契機として、社会ニーズの変化などに対応するため、都市計画手続き等を中断し、準備組合による再開発計画（施設計画や機能）の検証を実施

#### 再開発計画の検証に関する申入れ【母子】

（令和2年11月 準備組合）  
・基本方針を踏まえつつ、引き続き、再開発事業を推進  
・オープンスペースの重要性や職住近接のニーズに対応し、将来にわたって市民が、安心・快適に利用できる施設計画や機能について再度検討

#### 再開発計画の検証状況について【中間報告】

（令和3年12月 準備組合）  
・これまでの視点等を基本とし、状況変化を捉え更なる深度化を図る  
・駅・駅前広場・周辺市街地を一体的に捉え、将来の魅力的なまちづくりの中核を担う「駅まち空間」の実現に向け検討と関係者との調整等を行う

検証の視点	①広場	②開放	③境界	④職住	⑤流動
-------	-----	-----	-----	-----	-----

具体的な検討内容	○にぎわい・ウォークラブル	○魅力的な「駅まち空間」の整備
	○オープンスペースの拡充・利活用	○緑化・脱炭素化
		○防災

### 再開発事業の検証結果報告 (令和4(2022)年11月 準備組合)

#### ■2020年アセス準備書時点からの具体的な変更点

<主要な変更箇所>

①市民館のホールを、大ホールと小ホールの2ホール構成とし、小ホールを北街区に配置することで生み出された余剰空間を使い、より開放的で街に開いたステップテラスを設置するとともに駅前広場を拡充

開放 広場 駅まち空間 オープンスペース 緑化

②新たなライフスタイル・職住近接のニーズの実現、商業・公共用途を組み合わせたポータブルな利用を目指し、駅前街区に「働く機能」（ワークプレイス）を導入

職住 境界

③駅前街区と北街区の回遊性を高め、両街区の公共機能の更なる連携を図るために、街区間デッキを設置

流動 境界 ウォークラブル 防災

④まちの顔となり、周辺地域や下層階のテラスと視線が繋がりがり人の活動が見える空間を目指して、駅前街区の大ホールのホワイエ位置を南側に変更

開放 境界 オープンスペース

⑤駅から周辺市街地や鷺沼36号線へ抜け連続的な賑わいを形成する貫通道路を設置

流動 開放 ウォークラブル 駅まち空間

・検証結果の報告を受け、本市として、再開発事業の早期着手と早期効果発現に向けて、関連手続きを再開し、取組を推進



### (2) 今後の取組

- 令和5年度 …都市計画決定・組合設立認可（都市再開発法に基づく事業認可）
- 令和6年度 …権利変換計画認可・準備工事着工
- 令和7年度 …新築工事着工
- 令和9～10年度 …駅前街区竣工（予定）、令和12～14年度 …北街区竣工（予定）

## 7 全体スケジュール（予定）

再開発計画の検証結果を踏まえて、現時点で想定する今後の取組スケジュールは次のとおり。

